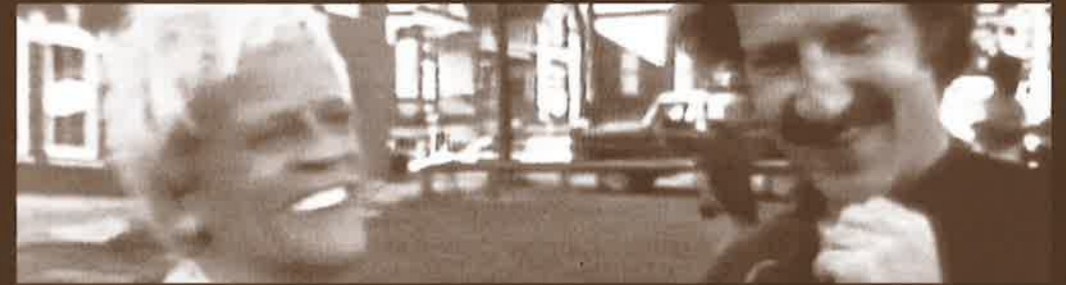


ゴジラ対ガメラ または二大怪獣地球最大の決戦

——柳下毅一郎 (特殊翻訳家)

～ヘルツォークとキンスキー。映画史上もっとも強烈なエゴを持つ二人は、最強コンビとして五本の映画でタッグを組むが、それは文字通り掴み合いの格闘でもあった。恐るべき戦いをヘルツォークの側から描いたのが『キンスキー、我が最愛の敵』である。もちろん、戦いが熾烈なものであったことくらいは『フィツカラルド』を見ればわかる。クラウド・キンスキーが狂っていたことくらいは『アギーレ・神の怒り』を見ればわかる。だが、ここまで凄まじい戦いだっただとは——そしてキンスキーがここまで狂っていたとは——誰も思わなかったことだろう。(中略) 地球を揺るがす二大怪獣が、ゴジラとガメラが相まみえたらいったい何が起こるのか？ 教えてあげよう、そのとき船は山を登るのだ。～ (キンスキー、我が最愛の敵) プレスより抜粋)



クラウド・キンスキー Klaus Kinski 【俳優】

1926年生まれ、91年没。その顔面からも漂わせる(残忍な悪漢)のイメージをそのままに、1960年代よりマカロニ・ウエスタン、B・C級映画に数多く出演し名を馳せる。ヘルツォークと初めて組んだ『アギーレ・神の怒り』(72年)以降、実力派俳優としても認められる。本作品は、彼の無名時代の逸話(叫び声でウィングラスを割ったなど)から、キンスキー絶叫の大規模なボエトリー・リーディングのドキュメント、ヘルツォークと共同作業中の驚愕のエピソードも含め、キンスキーのそういった「怪傑」というイメージが生まれ持ったものか、作られたものかを教えてくれるであろう

ヴェルナー・ヘルツォーク Werner Herzog 【監督】

1942年生まれ。1970年代(ニュージャーマン・シネマ)の旗手として、ウィム・ヴェンダースらと共に注目を浴びる。長編第一作『生の証明』(68年)でドイツ連邦映画賞を受賞以降、『カスパー・ハウザーの謎』(74年)でカンヌ国際映画祭の審査員特別賞、『フィツカラルド』(82年)で同じく監督賞を始め、燦然たる受賞を重ねた。ヘルツォークは本作品で、キンスキーと自分はお互いを補完し合い、彼も私を必要としていたと語るそばから、キンスキー暗殺計画を告白するなど、ふたりの愛情関係を大いに語っている。近年に入り、ハーモニー・コリン監督の『ジュリアン』に出演したり、ティム・ロスを起用した新作を撮ったりと、いまだ活躍はつきない巨匠のひとりである

1999年/ドイツ・イギリス/95分/カラー・モノクロ/
35mm/1:1.66/ドルビーデジタル/監督:ヴェルナー・ヘルツォーク/撮影:ペーター・ツァイトリンガー/
編集:ジョー・ピニ/録音:エリック・シュビツァー/製作:ルッキー・シュティベティッチ/音楽:ポボル・ワー/
制作:Werner Herzog Filmproduktion/共同製作:
Café Productions、Zephir Film
©Werner Herzog Filmproduktion/日本語字幕:松岡
葉子/配給:パンドラ Tel.03-3555-3987
<http://www.pan-dora.co.jp/>



地酒湖東富貴に酔い アートにシビれる

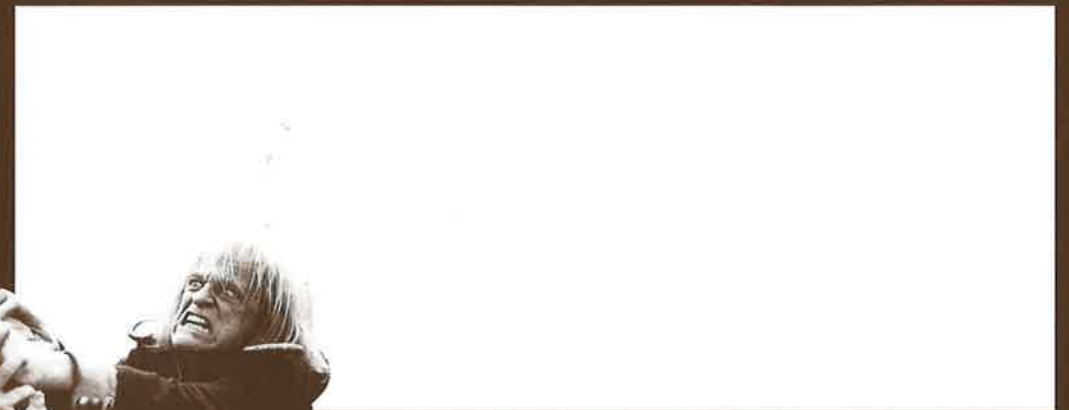
サケデリック・スペース

酒: 湖 舎 宮

西勝酒造株式会社 〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中21
TEL(0748)32-2054 FAX(0748)32-6336

キンスキー

我が最愛の敵
Werner Herzog
“Mein Liebster Feind”



ヘルツォークに狂う

キンスキー

我が最愛の敵 Werner Herzog
“Mein Liebster Feind”



ヴェルナー・ヘルツォーク監督作品

1999年カンヌ国際映画祭、モントリオール世界映画祭、トロント国際映画祭ほか正式出品作品

出演:クラウド・キンスキー、ヴェルナー・ヘルツォーク、クラウドディア・カルディナーレ、エーファ・マッテス、フスト・ゴンサレスほか

配給 パンドラ